



科名           ブドウ科  
標本番号       1  
植物名         エビヅル  
採集年月       昭和52年8月



花期           6～8月  
生育地         山野  
備考           雌雄異株のつる性植物。  
                茎の長さは2～3mになる。  
                葉は切れ込みがあり、大きさは  
                4～8cm。花は円錐花序で、淡  
                黄緑色の小さな花を密に着け  
                夏に開花する。  
                実は秋に黒く熟す。



科名 シナノキ科  
標本番号 1  
植物名 シナノキ  
採集年月 昭和53年5月



花期 6～8月  
生育地 山地  
備考 日本各地の山地に生える落葉高木。若枝に淡褐色の軟毛があるがすぐに無毛。葉は互生、長さ4～8cm。花は夏、葉の付け根からでた長い柄の先に集まって咲く。この柄にへら形の苞がある。樹皮は繊維が強くシナ布を織る。水湿に強く船のロープなどにする。



科名 スミレ科  
標本番号 1  
植物名 アオイスミレ  
採集年月 昭和53年6月



花期 4月下旬～5月上旬  
生育地 山の木陰  
備考 最も花期の早いスミレ、  
アブラチャンの花が咲き始める  
頃に咲く。  
和名は葉の形がフタバアオイに  
似ていることによる。  
日本特産である湿り気が多い  
落葉樹林下や林縁に多い。  
花期の花丈はせいぜい3～8cm。



科名 スミレ科  
標本番号 2  
植物名 アカネスミレ  
採集年月 昭和53年5月



花期 5月  
生育地 丘陵地(林の縁や道ばた)  
備考 名の通り茜色の愛らしい  
スミレ。青みの強いものや  
淡い色など変化も多い。  
花は直径1.5cm前後。  
花卉は閉じぎみでつつましい。



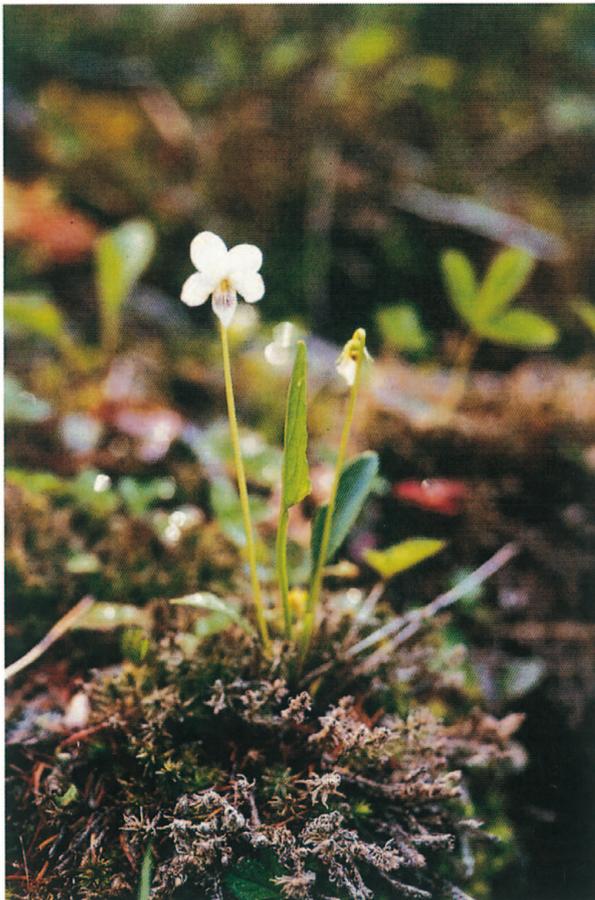
科名           スミレ科  
標本番号       3  
植物名         サクラスミレ  
採集年月       昭和53年5月



花期           5月  
生育地       陽あたりのよい草地  
備考         花は大型で直径2.5cmあり、日本最大。花の色は赤紫系で、名前についている桜とはイメージが異なる。花や葉の茎の長い軟毛が特徴。花の大きさから「スミレの女王」の異名も。



科名           スミレ科  
 標本番号       4  
 植物名         シロスミレ  
 採集年月       昭和52年6月



花期           4～6月  
 生育地         湿った草地  
 備考           紫色の「スミレ」をそのまま白花にした  
                   感じなので、「スミレ」の白花品と混同  
                   されやすい。距は「スミレ」より短く、葉  
                   柄に比べて葉身が短い。  
                   「シロバナスミレ」の別名がある。



科名 スミレ科  
標本番号 5  
植物名 タチツボスミレ  
採集年月 昭和52年5月



花期 4～5月  
生育地 野や山  
備考 最も普通のスミレ。咲きはじめると  
だんだん地上茎が立ち上がって  
いく。葉はハート形、花はピンク。  
花つきもよく愛らしい。



科名 スミレ科  
標本番号 6  
植物名 ヒナスミレ  
採集年月 昭和53年5月



花期 4～5月  
生育地 林床  
備考 山地の林下の腐植地に生える無茎性の多年草。最に出る葉は無毛で次第に毛が生えてくる。葉はすべて根生。花は春、径1.5cm位、淡いピンク色が多い。花が美しくかわいらしいところから名づけられた。



科名 キブシ科  
標本番号 1  
植物名 キブシ  
採集年月 昭和53年4月



花期 4～5月  
生育地 山地  
備考 北海道西南部から九州の山地に生える落葉低木。高さ2～3m。樹皮は暗褐色で光沢がある。葉は薄く互生し、花は早春、若葉より早く長さ4～10cmの穂を垂れ下げて、多数の花柄のない黄花を密に付ける。雌雄異株。和名は果実を五倍子の代用品に用いるために木ブシまたは豆ブシの名があるという。



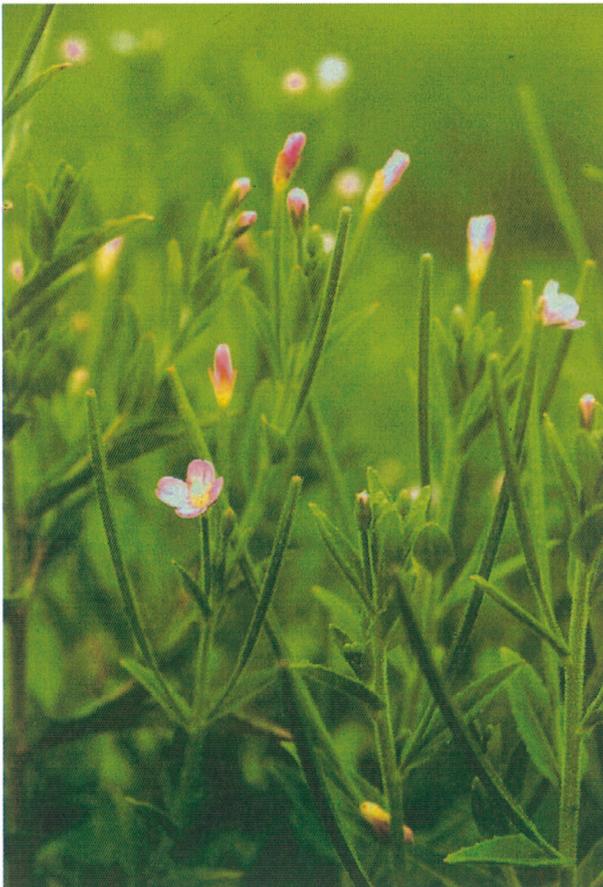
科名           ウリ科  
標本番号       1  
植物名         ミヤマニガウリ  
採集年月       昭和52年7月



花期           8～9月  
生育地         林内・原野  
備考           深山に生えるつる性の一年草で、  
                  茎は細い。両性花株と雄花株とが  
                  ある。葉は長柄があり葉身は心臓  
                  状卵形で5～7角、巻きひげは葉  
                  と対生し、白い花が雄株は数個、  
                  両性株では1個ずつつく。果実は  
                  1cmの小さい卵形で熟すと3裂する。



科名 アカバナ科  
標本番号 1  
植物名 アカバナ  
採集年月 昭和53年5月



花期 5～8月  
生育地 山ろくや野原の水湿地  
備考 高さ30～70cmの多年草。  
葉は細く対生。  
花は5～10mmで花弁は4枚、  
淡い赤紫色。



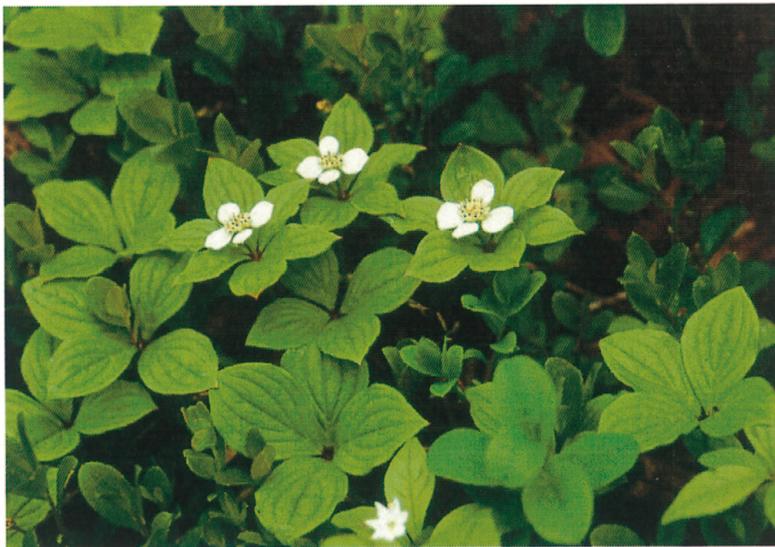
科名 アカバナ科  
標本番号 2  
植物名 タニタデ  
採集年月



花期 7～9月  
生育地 山の林の下  
備考 多年草。高さ約20～40cmぐらい。茎は直立し葉は対生。3～8cmの卵形で鋸歯があり、葉柄は紫色。夏に茎の頂に分枝して総状花序をつけ、淡紅色の小さな花を開く。



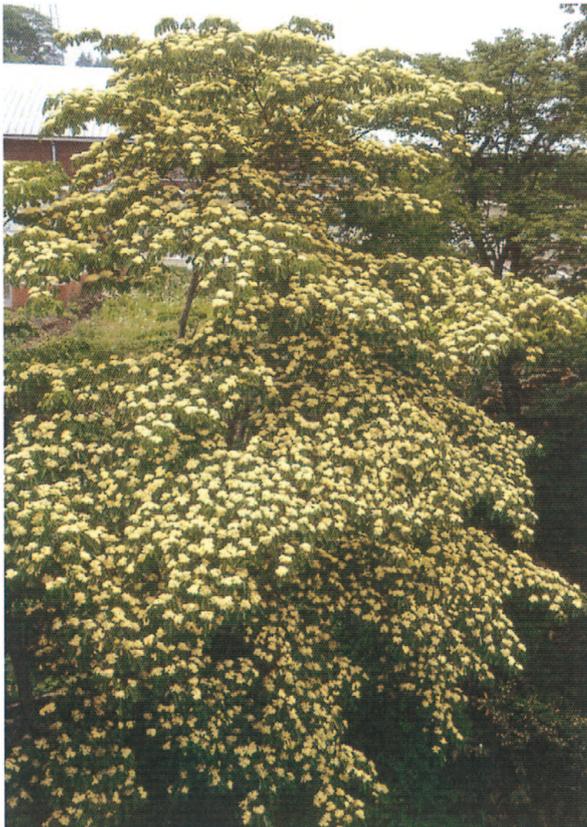
科名 ミズキ科  
標本番号 1  
植物名 ゴゼンタチバナ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 針葉樹林下  
備考 高さ5～15cm。白い花びらのように見えるのは総苞片であり、花は小さくて目立たない。果実は丸い。熟すと赤くなり美しい。4枚または6枚の葉が輪生するが6枚にならないと花は咲かない。



科名 ミズキ科  
標本番号 2  
植物名 ミズキ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～7月  
生育地 山地  
備考 高さ10～20mの落葉高木。葉は互生。枝先に小さい白い花を密につけ、秋に黒っぽい実となる。名の由来は枝に水分が多いことによる。燃えにくいので、どんどん焼きの折、まゆ玉をさしてかざす木になる。



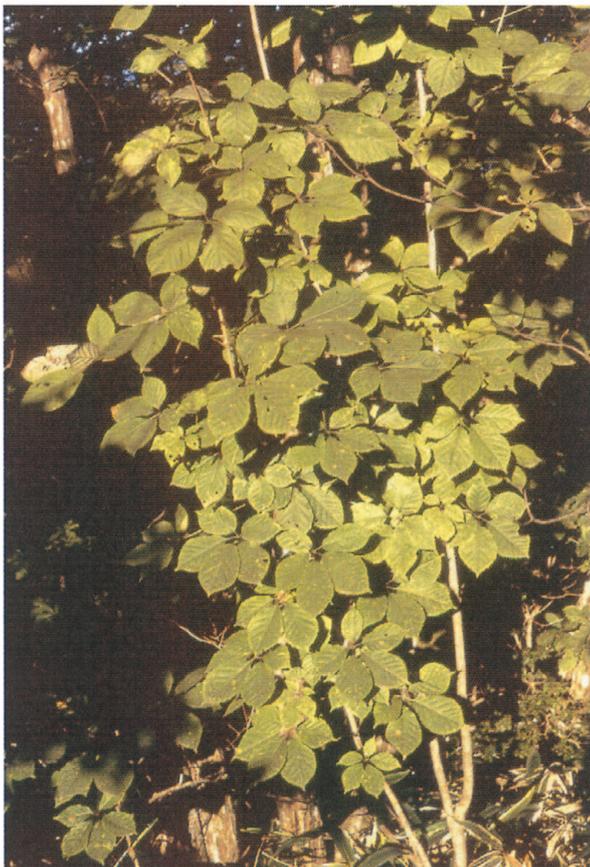
科名 ミズキ科  
標本番号 3  
植物名 ヤマボウシ  
採集年月



花期 6～7月  
生育地 山地  
備考 高さ5～10mの落葉高木。ミズキと  
違い葉は対生。夏の頃、枝先に花  
柄を出しその先に1群の花をつける。  
白い花が木全体をおおい美しいが、  
4枚の白い花弁のように見えるのは  
総苞片で、修行僧の白いかぶり物  
に見立てられ、この名がある。集合  
果は緑の球状体で、赤く熟し食べ  
られる。



科名           ウコギ科  
標本番号       1  
植物名         コシアブラ  
採集年月       昭和52年7月



花期           6～7月  
生育地        山地  
備考           山地に普通に生える落葉高木。  
                高さ約15m。葉は5枚の小葉から  
                なる掌状複葉で、6～7月枝先に  
                淡い黄緑色の小さな花の集まりを  
                つける。実は秋に紫黒色に熟す。  
                若芽は食料に利用される。



科名 ウコギ科  
標本番号 2  
植物名 ヤマウコギ  
採集年月 昭和52年5月



花期 5～6月  
生育地 山野  
備考 山野に生える雌雄異株の落葉低木。高さ2m内外で、幹は束生して曲がり分枝して強い刺がある。葉は長枝に互生し短枝には集まってつく。5小葉の掌状複葉。初夏に球形状の散形花序を出し、黄緑色の小さな花を密につける。果実は球形で熟すと黒くなる。



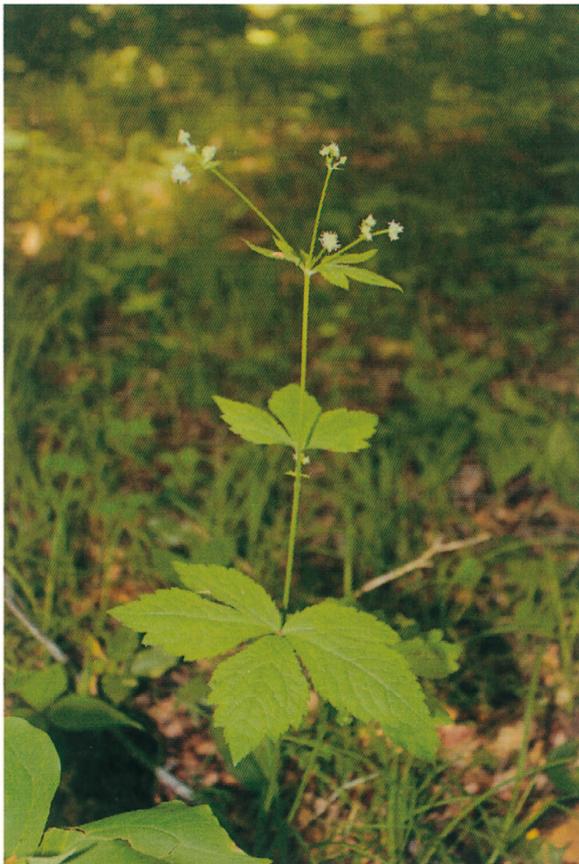
科名 セリ科  
標本番号 1  
植物名 イブキボウフウ  
採集年月 昭和52年8月



花期 8～9月  
生育地 日当たりのよい山地草原  
備考 日当たりのよい山地草原にはえる多年草。茎は直立し多くの枝をわけ、高さ30～120cm。葉は2・3回羽状複葉で、小葉は細かく切れ込む。8～9月に複散形の白い花が咲く。



科名 セリ科  
標本番号 2  
植物名 ウマノミツバ  
採集年月 昭和52年7月



花期 7～9月  
生育地 山林の下  
備考 山林下に多い多年草。高さ30～50cm。  
茎は直立して分枝する。葉は3裂する。  
枝先に小散形の花をつけ、両性花と  
雄花を混生する。



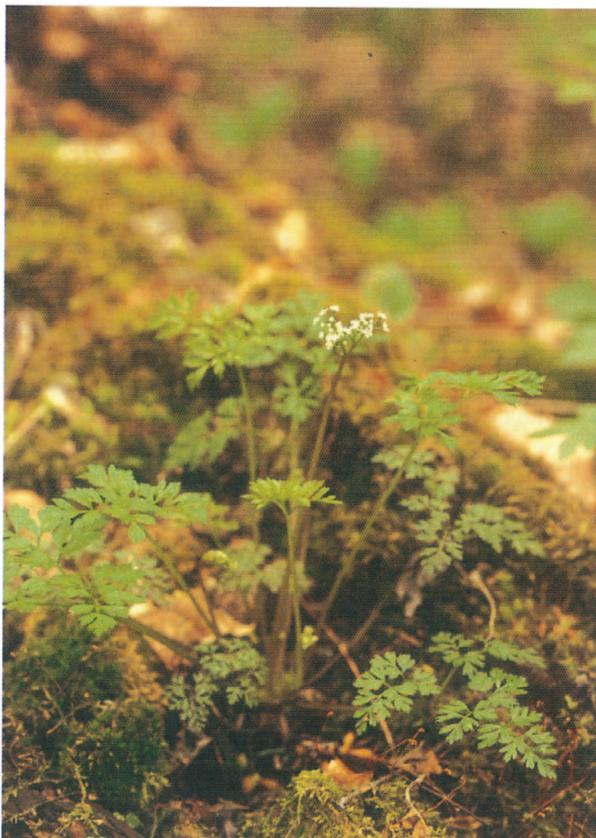
科名 セリ科  
標本番号 3  
植物名 シラネセンキュウ  
採集年月 昭和52年9月



花期 8～9月  
生育地 山地の谷川のふち  
備考 山地の川のふちや湿地などに生育する多年草。高さ1.5mぐらい。茎は直立し円柱形でまばらに分枝する。葉は大形で茎生葉は互生する。花は枝先にかなり大きい複散形花序となって多くの小花をつける。和名は日光白根山で発見されたことにちなんでいる。別名スズカゼリ。



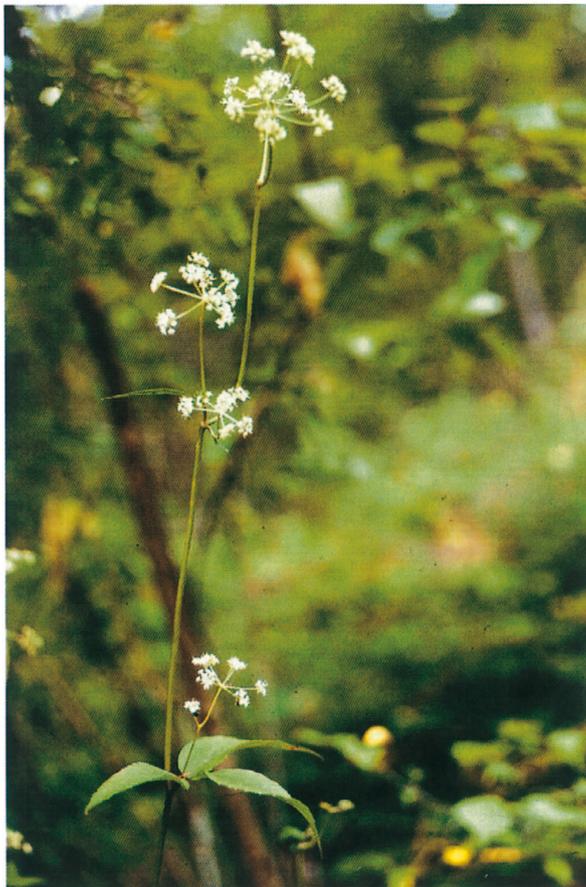
科名 セリ科  
標本番号 4  
植物名 セントウソウ  
採集年月 昭和53年6月



花期 5～6月  
生育地 山野の木陰  
備考 山野の林に生える、無毛で軟らかい多年生草木。葉の間から長さ10cmぐらいの茎を出し、その先に数個の白色の花をつける。葉がキンポウゲ科のオウレンに似ているので、オウレンダマシともいう。



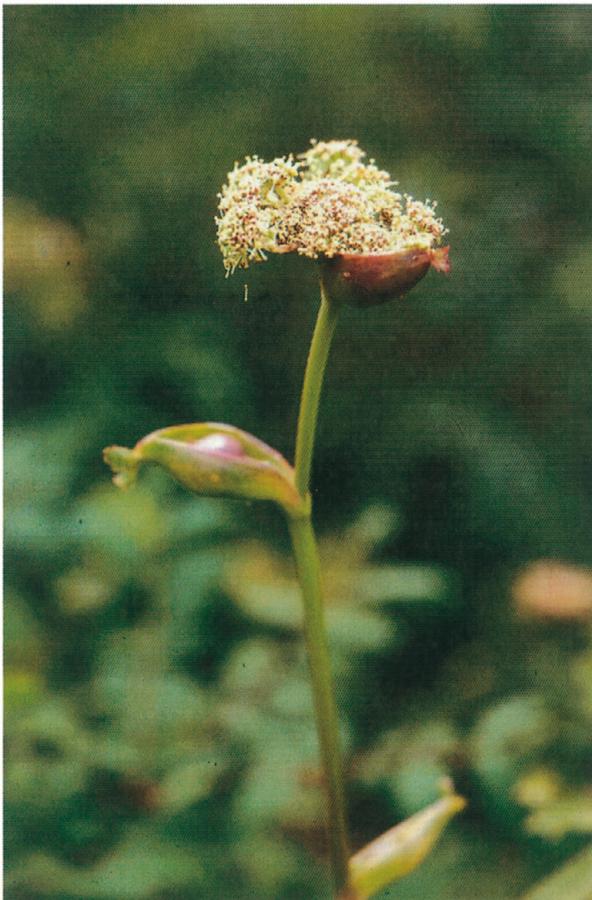
科名 セリ科  
標本番号 5  
植物名 タニミツバ  
採集年月 昭和52年8月



花期 8～9月  
生育地 谷間の木陰  
備考 山林内の湿地などに生える無毛の多年草。茎は高さ60～80cmぐらい。葉は3～5小葉からなり、縁には細かい鋸歯がある。花は花序はまばらで小花は白色。



科名 セリ科  
標本番号 6  
植物名 ノダケ  
採集年月 昭和52年8月



花期 8～10月  
生育地 野や山の木陰  
備考 本州関東以西の暖帯に分布し、山野の林内に生える多年草。茎は高さ80～150cmぐらい、稜線があり上部でわずかに分枝する。葉は3出羽状、根生と下部の葉は長い柄がある。花は紫色。花の下の丸いものは葉の柄が膨らんだもの。かぜ薬として煎じて飲むが香りと苦味がある。



科名 セリ科  
標本番号 7  
植物名 ミヤマニンジン  
採集年月 昭和52年8月



花期 7～8月  
生育地 山地・林縁  
備考 高さ20～50cmの多年草。根茎は細長く横にはう。茎は緑色で細長く直立し、まばらに分枝する。葉は2～3回羽状複葉で小葉は細かく切れ込む。茎の先に小さい複散形花序を出して白色の小花をつける。全体の形がシラネニンジンとよく似ているので果実や根茎を細かく見ないと同定は難しい。



科名 リョウブ科  
標本番号 1  
植物名 リョウブ  
採集年月 昭和52年7月



花期 8～9月  
生育地 山地林内  
備考 夏の終わる頃、林内や林の縁でよく見かける落葉小高木で、高さは4～8m。幹はなめらかで茶褐色をしている。葉は互生。枝の先端に長さ8～15cmの総状花序を出し、小さい白色の花を密につける。



科名 イワウメ科  
標本番号 1  
植物名 イワカガミ  
採集年月 昭和52年6月



花期 6～8月  
生育地 山地の岩場  
備考 高原等では広く分布している常緑の多年草である。丈は10～15cm。花は1cmぐらいのピンク色したものが数個つく。葉につやがあつて光るので、これを鏡にたとえた。



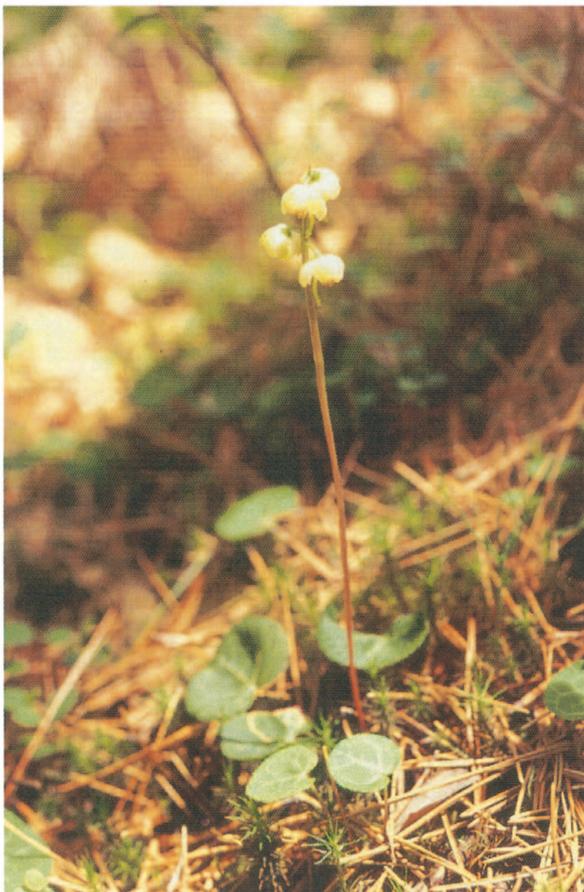
科名 イチヤクソウ科  
標本番号 1  
植物名 コバノイチヤクソウ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～7月  
生育地 林下  
備考 林下に生える多年草。葉はつやがなく、緑は濃くない。長さ1～3cmの柄があり、広楕円形または円形で先は短く尖るか円い。高さ10～15cmの花茎を伸ばし、3～7個の白い花をつける。



科名           イチヤクソウ科  
標本番号       2  
植物名         ジンヨウイチヤクソウ  
採集年月       昭和52年7月



花期       6～7月  
生育地    林床  
備考       林内に生える常緑の多年草。根茎は細長く地下に伸びている。葉の形は腎臓形をしており、他のイチヤクソウより小型で、10～15cmぐらいの花茎を出し、まばらに2～3個の花を下向けにつける。



科名           イチャクソウ科  
標本番号       3  
植物名       ベニバナイチャクソウ  
採集年月



花期       6～7月  
生育地   林床  
備考       森林内に生える常緑の多年草。葉の表面はつやがある。初夏、葉の間から直立する花茎を出し、上部に赤味を帯びた花を下向きにつける。ときに樹木の下に群落をつくることがある。



科名 ツツジ科  
標本番号 1  
植物名 ウスノキ  
採集年月



花期 5～6月  
生育地 林内  
備考 落葉低木。高さは1m内外。枝は横に張り出し、細かく分かれる。花は枝の先に1～3個ずつ、先が5つに分かれてそり返ったつりがねの形で、下向きに咲く。実は夏から秋に赤くなり、先がくぼんでいるので、この名前がついた。



科名 ツツジ科  
標本番号 2  
植物名 サラサドウダン  
採集年月 昭和53年6月



花期 5～6月  
生育地 山地の林内  
備考 高さは4～5mで山地に生える  
落葉低木である。葉は枝先に  
輪状につき、枝先から5つに裂  
け鐘形の花が5～15個垂れ下  
がり赤味な色を帯びて美しいの  
で「更紗」の名がついた。後に  
5～7mmの実がつく。



科名 ツツジ科  
標本番号 3  
植物名 ツガザクラ  
採集年月 昭和52年7月



花期 5～7月  
生育地 高山の岩地・溶岩内  
備考 岩地に群落を作る。花の大きさは6～7mmで淡いピンクの鐘形をしている。イワカガミやミネズオウと混じって咲き競ってとても美しい場所もある。



科名 ツツジ科  
標本番号 4  
植物名 ハナヒリノキ  
採集年月 昭和52年8月



花期 7～8月  
生育地 山地  
備考 高さ1～2mの落葉低木。葉は互生し、枝先に花序が伸び、4mmほどの淡緑色のつぼ型の花が下の方から咲く。ハナヒリとはくしゃみのことで、有毒植物。「鼻嚏の木」と書く。鬼押し出し溶岩流の中でよく目に付く。



科名 ツツジ科  
標本番号 5  
植物名 ヒカゲツツジ  
採集年月 昭和53年5月



花期 4～5月  
生育地 山の岩場  
備考 岩場に自生する高さ1mくらいの  
低木である。黄味を帯びた花が  
咲き、シャクナゲの仲間に近い  
風体を示す。



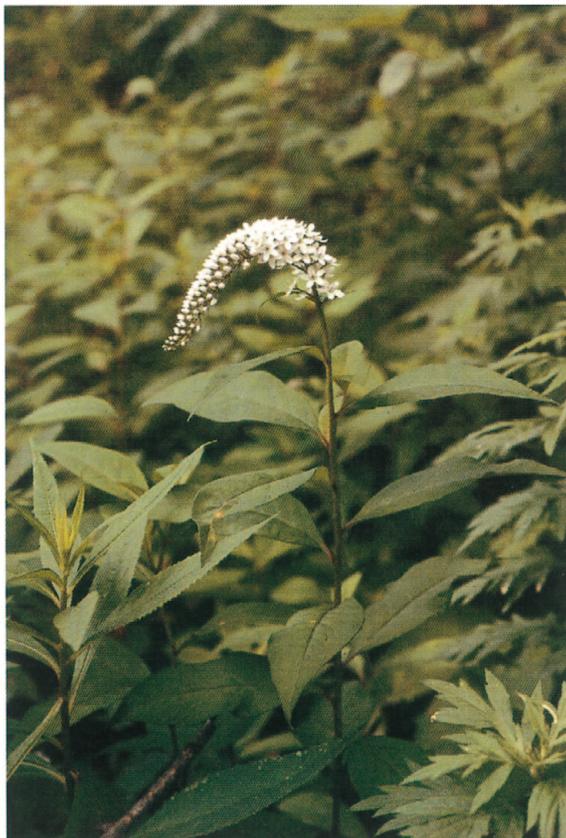
科名 ツツジ科  
標本番号 6  
植物名 ムラサキヤシオツツジ  
採集年月 昭和53年5月



花期 5～6月  
生育地 深山  
備考 高さ2～3mの落葉低木。葉は枝先にやや輪生状に互生。葉に先立って濃紅紫色の美しい花が2～6個咲く。直径は3～4cmぐらい。名は「紫八染」と書き、染料に何回もつけて染め上げた様を表す。



科名            サクラソウ科  
標本番号        1  
植物名           オカトラノオ  
採集年月        昭和52年7月



花期            6～8月  
生育地        陽あたりのよい草地  
備考            大きさは60～100cmで、陽あたりの  
よい草地に生える。白い小さな花が  
穂のように咲く。初夏の草原はよく  
目立つ。クサレダマなどとともにサク  
ラソウの仲間である。



科名 サクラソウ科  
標本番号 2  
植物名 ツマトリソウ  
採集年月 昭和52年6月



花期 6～7月  
生育地 高山の草地や樹林内  
備考 丈は7～20cm。高山から低山帯と広い範囲にわたって生える。花は径1.5～2cmで、7枚に割れた白い花弁が星のように広がる。たまに淡いピンクがかかった花も見られる。



科名 エゴノキ科  
標本番号 1  
植物名 ハクウンボク  
採集年月



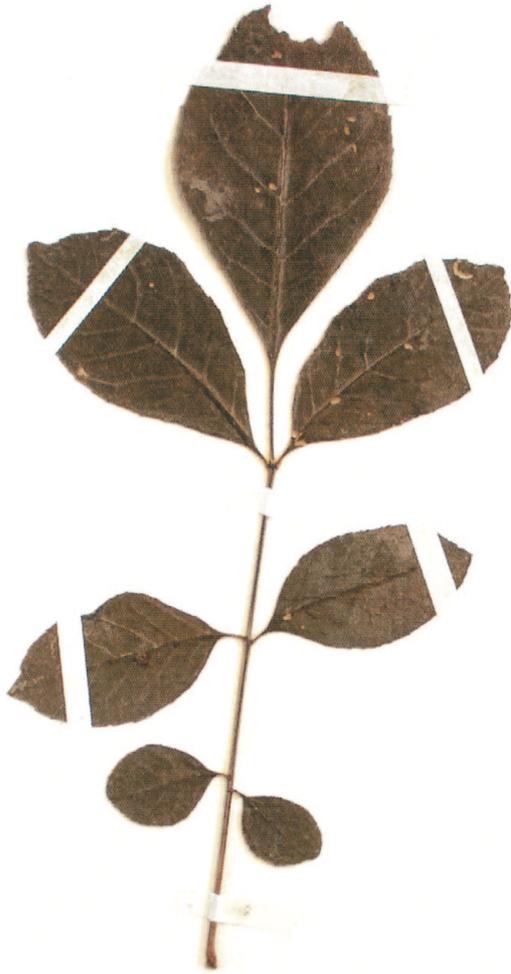
花期 5～6月  
生育地 山地  
備考 高さ6～15mの落葉高木。葉は互生し10～20cmの長さで大型。大きき2cmの白い花が、枝先10～20cmの長い花序に多数垂れ下がり、下から見上げるとまさに「白雲木」である。果実は穂をなして垂れ下がり、熟すと裂けて中に堅い褐色の1種子がある。



科名           ハイノキ科  
標本番号       1  
植物名         サワフタギ  
採集年月       昭和52年7月



花期           5～7月  
生育地        山野  
備考           高さ4～6mの落葉低木から小高木。  
葉は互生し、両面に毛が生えてざらざらしている。今年伸びた枝先に、3～6cmの花序を出し、直径7～8mmの白い花が密につく。花は5深裂し、白い雄しべが多数広がり美しい。実も紫色で美しくルリミノウシコロシの別名が。ウシコロシは午の鼻取りのこと。



科名 モクセイ科  
標本番号 1  
植物名 アオダモ(コハナネリコ)  
採集年月



花期 5～6月  
生育地 山地  
備考 山地に生える雌雄異株の落葉高木。  
葉は対生し、羽状複葉。枝先や葉の  
わきに、小さな白い花が多数まとまっ  
て咲く。  
和名は枝を切り水につけると水が  
青くなることによる。

(左の写真は、アオダモに近い仲間と  
言われているマルバアオダモです。)



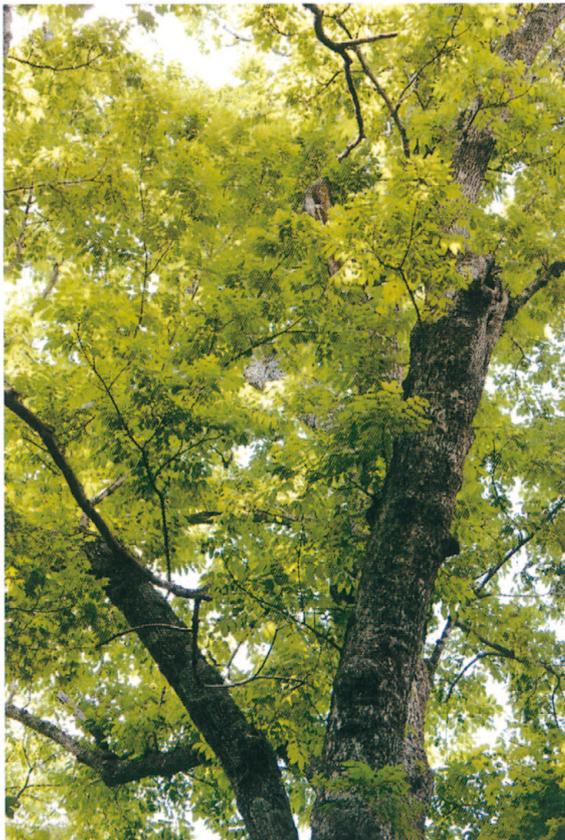
科名 モクセイ科  
標本番号 2  
植物名 イボタノキ  
採集年月



花期 5～6月  
生育地 山地  
備考 高さ2～3mの落葉低木。  
枝は灰白色でよく分枝する。  
葉は対生。  
枝先にろうと形の長さ7～10mm  
の白い花が房のように集まって  
咲く。果実は長さ7mmの楕円形  
で黒紫色。  
樹皮に白いイボタノキが寄生  
することによりイボタノキといひ、  
その虫が分泌したろうは家具の  
つやだしなどに使われる。



科名 モクセイ科  
標本番号 3  
植物名 トネリコ  
採集年月 昭和53年6月



花期 4～5月  
生育地 山地  
備考 落葉高木で高さは15m前後になる。  
別名タモ。葉は柄があり対生し、奇  
数羽状複葉で小葉は長さ5～15cm  
である。新芽に先だつて黄色い花の  
穂が垂れ下がって咲く。



科名 モクセイ科  
標本番号 4  
植物名 ハシドイ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 山地  
備考 落葉小高木。高さ10mにも達し、樹皮は灰白色。葉は対生で上面無毛。裏は淡緑色。前年枝の頂に大形の円錐花序を出し、白色の小さい花を密につける。



科名 モクセイ科  
標本番号 5  
植物名 ヒイラギ  
採集年月 昭和52年9月



花期 11月  
生育地 山地  
備考 高さ4～8mの常緑小高木。葉のふちに刺があるのが特徴であるが、老木になると刺がなくなる。芳香のある白い花が葉のわきにつく。雌雄異株。暖かい地方の木で大津の巨木は北限の町指定文化財。



科名 モクセイ科  
標本番号 6  
植物名 ミヤマイボタ  
採集年月



花期 5～7月  
生育地 山地  
備考 高さ2～3mの落葉低木。枝は多く分岐して細く灰色。葉は対生。イボタノキに比べて葉はやや小型でとがる。花も小さめ。実は球形である。ミヤマは「深山」の意味。



科名            リンドウ科  
標本番号        1  
植物名           アケボノソウ  
採集年月        昭和52年9月



花期            8～9月  
生育地          高原の湿地  
備考            湿地に生える1～2年草で丈は  
60～90cm。茎は直立し、その  
なかほどから上に左右対称の  
形に枝をだす。  
葉は対生で3脈が目立つ。  
花は白～クリーム色で大変美  
しい模様がある。  
大きさは2cm前後で基部まで  
5つに裂ける。



科名 リンドウ科  
標本番号 2  
植物名 ツルリンドウ  
採集年月



花期 8～10月  
生育地 山の木陰  
備考 茎がつるになって小型の花が咲く変わったリンドウ。葉は対生で5cm内外、花の長さは2.5cmほどで、色は薄い紫色。実は晩秋に美しい赤紫色となり目立つ。高原では、ホソバナツルリンドウも見られる。



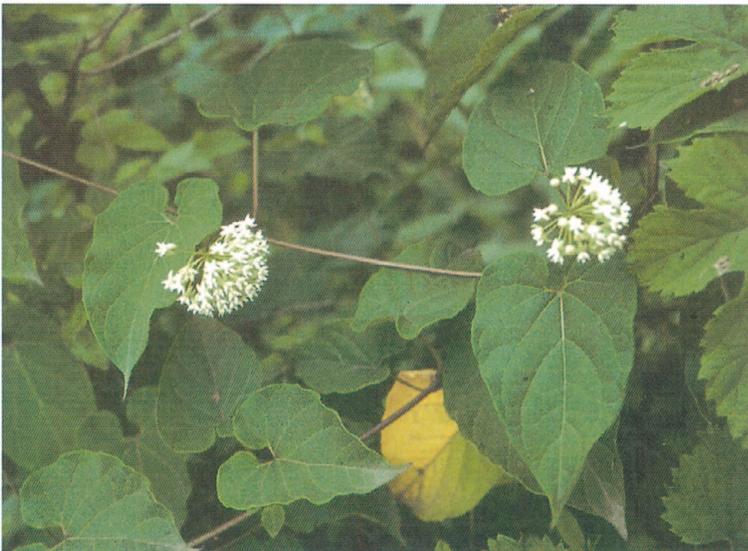
科名            リンドウ科  
標本番号       3  
植物名          リンドウ  
採集年月       昭和52年10月



花期            9～10月  
生育地          山や丘陵地  
備考            丈は30～80cm。横にはっていることも  
ある。花は紫で、長さ約5cm。日を受け  
て開き、雨の日や夜は閉じている。



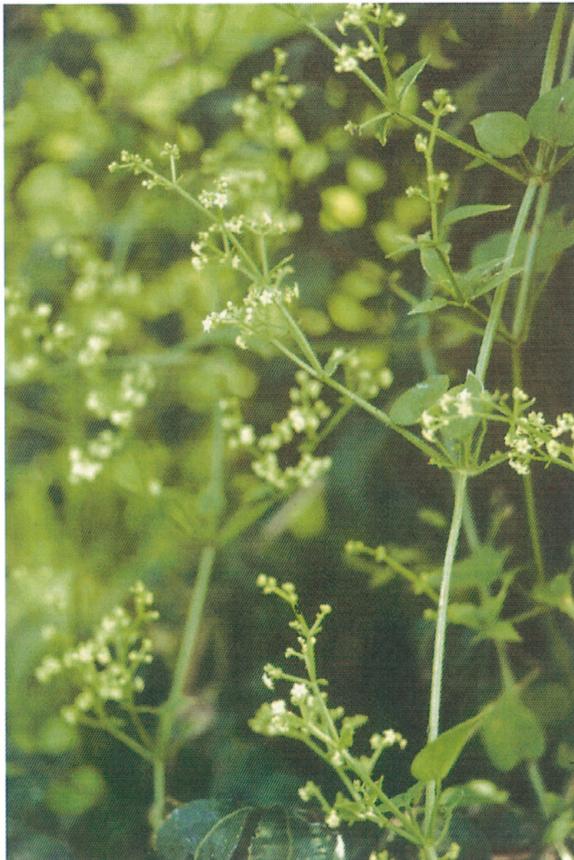
科名 ガガイモ科  
 標本番号 1  
 植物名 イケマ  
 採集年月 昭和52年7月



花期 7～8月  
 生育地 山の木陰  
 備考 他の木などに巻きつくつる性の多年草。葉は対生。葉柄より長い柄の先に多くの白色の花が放射状につく。果実は袋果で細長く、長さ8～10cm。夏高原で見られる。アサギマダラ蝶の食草でもある。



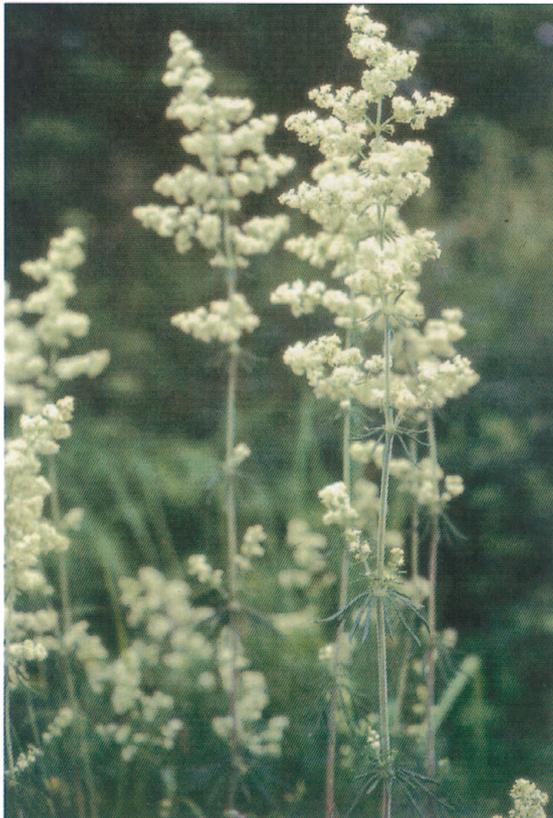
科名 アカネ科  
標本番号 1  
植物名 アカネ  
採集年月 昭和52年7月



花期 8～9月  
生育地 野や山  
備考 角ばった茎に逆さの刺があり、ほかの草にからみつく。4枚の葉が輪になって茎につく形に特徴がある。万葉の歌にもよまれた「茜」はこの草の根から採れる染料。



科名 アカネ科  
標本番号 2  
植物名 カワラマツバ  
採集年月 昭和52年7月



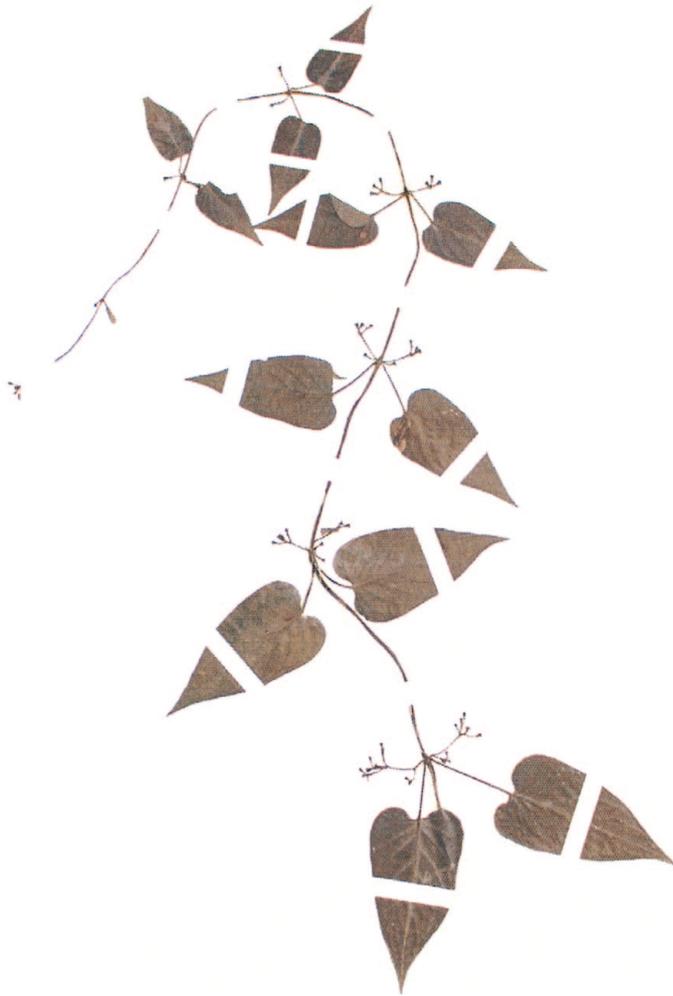
花期 7～8月  
生育地 野や山  
備考 やや乾いた陽当たりのよい草地などに多い多年草。丈は30～80cm。細い葉が茎に何段も輪になってつく。花の色は白がふつうだが、色の違うものにウスギカワラマツバ、キバナカワラマツバがある。和名は河原などに多く生え、葉の具合が松葉に見えることからいう。



科名	アカネ科
標本番号	3
植物名	クルマバソウ
採集年月	昭和53年6月



花期	6～7月
生育地	山の木陰
備考	多年生草本で地上の茎は高さ15～30cmで直立し断面は四角。葉が車輪のように丸く茎につく。茎や葉に毛がなく、葉は厚くてつやがある。花は茎の先に3出状の集散花序を出し、直径5mmぐらいで集まって咲き純白で美しい。



科名 アカネ科  
標本番号 4  
植物名 ヘクソカズラ  
採集年月 昭和52年8月



花期 8～9月  
生育地 野や丘  
備考 茎はつるになり、ほかの草木にからみつく。花は長さ1cm、中央の赤いところが灸をすえたあのようなので、ヤイトバナともいう。美しい花なのに情けない名がつけられたのは、くさい臭いが強いから。



科名 アカネ科  
標本番号 5  
植物名 ヨツバムグラ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 山の木陰  
備考 小形の多年生草本で高さは10～30cmぐらいになる。茎は細くて四角くやや直立し、時に地面にふせる。各節に小形の葉を4片輪生する。花は小さな淡黄緑色で葉腋から出た枝や茎の先に花序を作って開く。



科名 ヒルガオ科  
標本番号 1  
植物名 ヒルガオ  
採集年月 昭和52年8月



花期 7～8月  
生育地 道端や野原  
備考 道端や野原の草むらに生え、ほかの草に巻きついて伸び、漏斗形をしたアサガオのような花が咲くが、昼間も花がしぼまないでいるので、ヒルガオと呼ばれる。花の色は淡いピンクで夏の日差しに映え美しい。



科名 ムラサキ科  
標本番号 1  
植物名 タチカメバソウ  
採集年月 昭和52年7月



花期 5～7月上旬  
生育地 山の溪流沿いの木陰  
備考 高原の溪流や湿地の木の下に群生する。茎は直立して高さ30～40cm。花の大きさは8mmぐらいで白色。和名は亀葉で葉の形が亀の甲羅に似ているところからきている。



科名 クマツヅラ科  
標本番号 1  
植物名 ムラサキシキブ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～7月  
生育地 山の林  
備考 落葉低木。10～11月に紫色の実を枝いっぱいにつける。美しい姿から源氏物語の作者の名がつけられた。葉のつけ根から出た柄の先に集まって咲く小さな花も淡い紫で、雄しべの黄との調和が美しい。



科名 シソ科  
標本番号 1  
植物名 イブキジャコウソウ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～8月  
生育地 礫地  
備考 草のようだが小低木。茎は地上をはって枝分かれする。丈は3～15cm。花は長さ5mmと小さいが集まって咲くので美しい。群落により花の色のピンクの濃さが違うので楽しめる。  
和名は伊吹山に多く産し全体によい香りがすることからきている。



科名 シソ科  
標本番号 2  
植物名 ウツボグサ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～8月  
生育地 陽当たりのよい草地  
備考 高さ20～30cmの多年草。シソ科の植物はみな、茎が四角で葉が対生という特徴がある。紫の花の集まった穂の形が武者が矢を入れて背負っていたウツボに似るところよりこの名がついた。また枯れて黒くなった花穂は利尿薬となる。



科名 シソ科  
標本番号 3  
植物名 カキドオシ  
採集年月 昭和52年5月



花期 4～5月  
生育地 道ばた  
備考 早春、花の少ないころ道ばたに咲き、楽しませてくれる。つる性の多年草で、全体に細かい毛がある。茎は細く四角形。葉は対生し、じん臓状円形。花は葉のわきに淡紫色の唇形花をつける。茎や葉に香気がある。  
和名は30cmくらいに立ち上がると、垣をくぐってはっていくので、この名がついた。



科名 シソ科  
標本番号 4  
植物名 カワミドリ  
採集年月 昭和52年9月



花期 8～10月  
生育地 林の縁  
備考 林の縁などに生える多年草。高さ40～100cm。葉は基部はハート形にくぼみ対生。淡い紅色から淡紫色の筒形の花が密集して10cm内外の穂になっている。全体に強い香りがある。乾かした物が漢方に使われる。



科名 シソ科  
標本番号 5  
植物名 クルマバナ  
採集年月



花期 8～9月  
生育地 山の草地  
備考 山の草地に生える多年草。茎は4角で高さ20～80cm。葉は対生し、卵形～狭卵形。夏に枝先に淡い紅色の花を車状に何段にもつける。



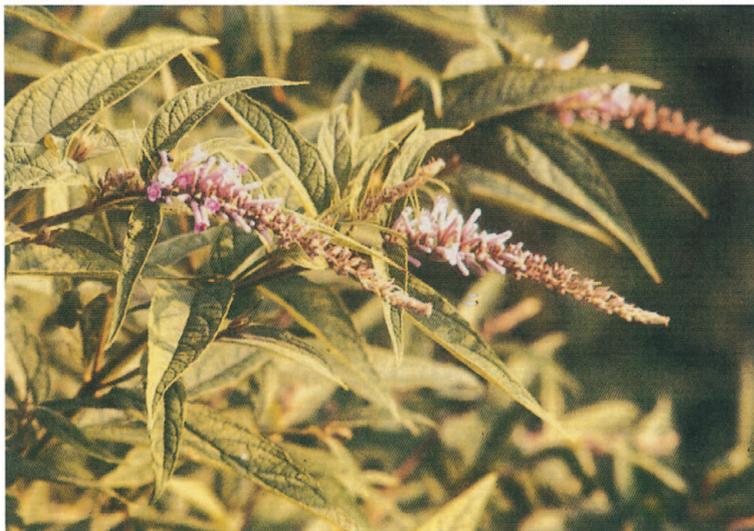
科名 シソ科  
標本番号 6  
植物名 セキヤノアキチョウジ  
採集年月 昭和52年9月



花期 8～10月  
生育地 山の木陰  
備考 丈は70～100cm。葉の先がとがる。花は青紫で長さ1.5～2cm。細長い花序に集まって咲く。花が筒状で「丁」の字に見えるのでこの名があるが、セキヤは不明。



科名 フジウツギ科  
標本番号 1  
植物名 フジウツギ  
採集年月 昭和52年8月



花期 7～9月  
生育地 山地  
備考 丈は50～150cm。落葉低木。幹は多く枝分かかれし、茎は四角でひれがある。葉は対生し、短い柄がある。花は淡い紫で長さ10～20cmの穂になる。ひとつの花は長さ1.5cm～2cm。有毒植物である。園芸種のフサフジウツギ(ブッドレア)は多種ある。



科名           ゴマノハグサ科  
標本番号       1  
植物名         クワガタソウ  
採集年月       昭和53年6月



花期           5～7月  
生育地         山の木陰  
備考           山地のやや湿り気のある林内に生える多年草。茎は高さ10～20cm、全体に軟らかい短毛がまばらに生える。花は春から初夏、花冠は紅紫色のすじがある。



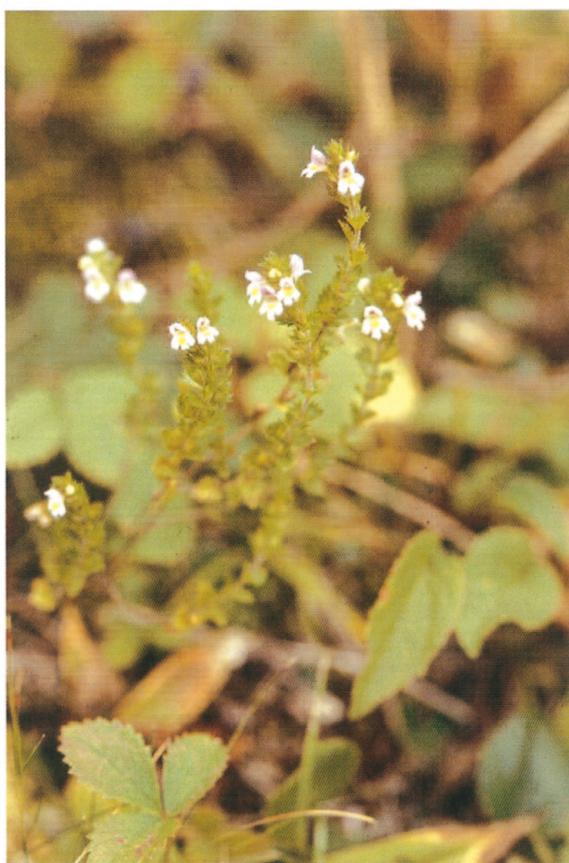
科名           ゴマノハグサ科  
標本番号       2  
植物名         グンバイヅル  
採集年月       昭和52年7月



花期           7～8月  
生育地         高山の草地・礫地  
備考           浅間山、四阿山などの砂礫地には  
                  はえるまれな多年草。茎は長く  
                  地上をはい、節から根をおろす。  
                  花は夏高さ10cm位で、軟毛の  
                  ある花序を直立する。葉の形が  
                  軍配に似て、茎が地面をほうこ  
                  ことから命名されたのであろう。



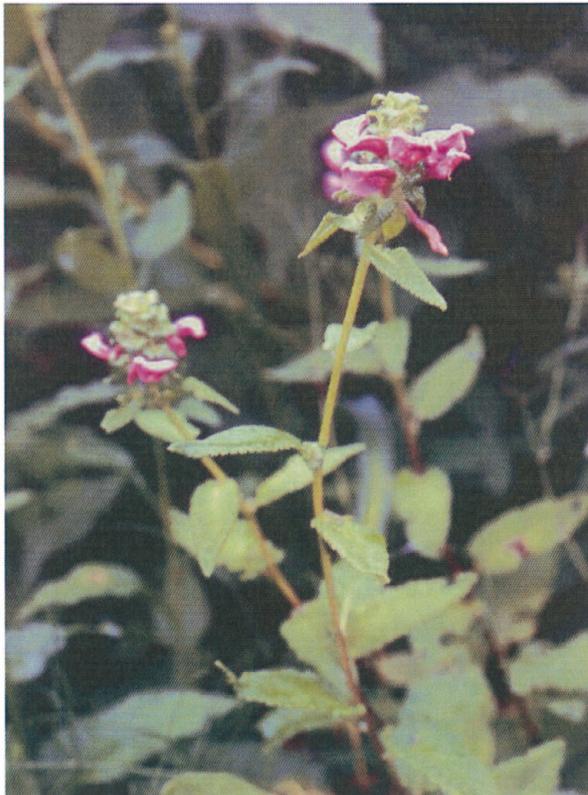
科名           ゴマノハグサ科  
標本番号       3  
植物名         タチコゴメグサ  
採集年月       昭和52年8月



花期           8～9月  
生育地        高原  
備考           高原に生える一年草。茎は少数の  
                枝を出して直立し、高さ15～30cm  
                になり、曲がった毛が生える。葉は  
                対生し卵円形で縁に4～7対のとが  
                った鋸歯がある。白い小さな花が米  
                粒を思わせるのでコゴメグサの名が  
                ある。



科名           ゴマノハグサ科  
 標本番号       4  
 植物名         トモエシオガマ  
 採集年月       昭和52年8月



花期           8～9月  
 生育地         高原の草地  
 備考           シオガマギクの変種で丈は30～60cm、  
                   長さ2cm位の鳥のクチバシのようなピン  
                   クの花が茎の頂に集まり、巴の形にな  
                   って咲くのでこの名がある。高峰高原  
                   にも多く見られる。



科名           ゴマノハグサ科  
標本番号       5  
植物名         ヒメトラノオ  
採集年月       昭和52年8月



花期           8～9月  
生育地        山の草地  
備考           クガイソウに似ているが、葉が対生に  
                  なっている。また、花茎が分枝する。  
                  花期もクガイソウが咲き終わってから  
                  咲く。大きさは40～100cmぐらいで草  
                  原に咲く。



科名           ゴマノハグサ科  
標本番号       6  
植物名         ママコナ  
採集年月       昭和52年8月



花期       7～8月  
生育地   山野  
備考       山のやや乾いた草地や林の縁に咲く。  
              茎の高さは30～50cmで、枝分かれし  
              その先にピンクの花を多数つける。  
              和名は飯子菜で花卉に米粒を2つ並  
              べたような白い模様があることから  
              いわれる。



科名 ハエドクソウ科  
標本番号 1  
植物名 ハエドクソウ  
採集年月 昭和52年7月



花期 7～8月  
生育地 山地・林床  
備考 林の中のやや暗いところで見かける。  
花茎は長い穂のようになり5mmほどの  
目立たない小さな白い花を多数つけ  
る。この根の汁でハエ取り紙を作った  
ところから命名されたという。



科名 オオバコ科  
標本番号 1  
植物名 オオバコ  
採集年月 昭和52年7月



花期 4～9月  
生育地 野山の路傍や荒地  
備考 日当たりのよい道ばたや荒地にふつう見られる多年草。うちわのような葉を地面にはりつくように広げ、葉の中心から茎をのばして細かい白色の花を穂状につける。



科名 スイカズラ科  
 標本番号 1  
 植物名 オニヒョウタンボク  
 採集年月 昭和53年5月



花期 5～6月  
 生育地 山地林内  
 備考 高原に多く見られる落葉木。  
 丈は3m前後になる。樹皮は縦  
 にさけて落ちる。花は若枝の下  
 部から柄を出し淡い黄色で、2個  
 途中まで融着している。  
 実は初夏に紅熟し球形。この実  
 は有毒である。



科名 スイカズラ科  
標本番号 2  
植物名 ガマズミ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 山野の陽あたりのよいところ  
備考 日本各地の山野の陽あたりのよい所に生える。落葉低木で高さ2～3m。花は初夏、1対の葉をつけたその年の短枝に多数の小白花を散房状に集めて花序をつける。花は小さく、径5mm位。果実は食べられる。花序の軸に長い星状毛と腺点がある。



科名 スイカズラ科  
標本番号 3  
植物名 カンボク  
採集年月 昭和52年6月



花期 6～7月  
生育地 山の湿地  
備考 高さは5m近くになる。大きな飾り花があり、葉は3つに深く裂ける。実は9～10月に赤く熟し、多数つくことがある。



科名 スイカズラ科  
標本番号 4  
植物名 スイカズラ  
採集年月 昭和52年7月



花期 6～8月  
生育地 山野  
備考 北海道南部から九州まで分布し、山野に生える半常緑の右施のつる性の木。若い時は短毛を密生する。花は初夏。芳香がある。漢名金銀花は、はじめ白から淡紅色、のちに黄色に変わってしおれるためである。別名冬の間も葉を落とさないで、忍冬(にんとう)という。



科名 スイカズラ科  
標本番号 5  
植物名 ニシキウツギ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 山地  
備考 山地に生える落葉低木。高さ2～3m。  
葉は対生し裏面の主脈に白い毛が密生。  
花は葉腋から2～3個の花を散房状に開く。  
花冠は5裂する。咲きははじめは淡黄色だが、しだいに紅色になる。



科名オ      オミナエシ科  
 標本番号    1  
 植物名      オトコエシ  
 採集年月    昭和52年8月



花期      8～10月  
 生育地    野山  
 備考      茎は直立し、高さ1mぐらいになり、全体に毛が多い。葉は対生し多くは羽状に分裂する。茎上部で分枝し、白花を多数つける。  
             植物の名には、男女を意識した名がある。オミナエシに対してオトコエシである。最近数が少なくなったオモナエシよりは良く見かけられる。



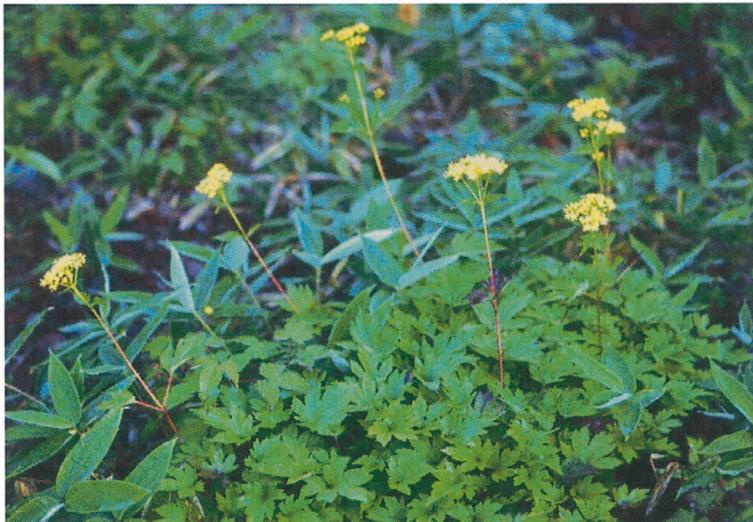
科名 オミナエシ科  
 標本番号 2  
 植物名 オミナエシ  
 採集年月 昭和52年8月



花期 8～10月  
 生育地 野山  
 備考 茎は直立し、高さは50cmから大きいものは1.5mにもなる。葉は対生し羽状に分裂する。晩夏から秋にかけて茎上部で分枝し、透き通るような黄色の花をつける。  
 秋の野を代表する花で、秋の七草のひとつとして昔から日本人に愛されてきた。和名はオトコエシに対して全草が優しいので女性にたとえたという。



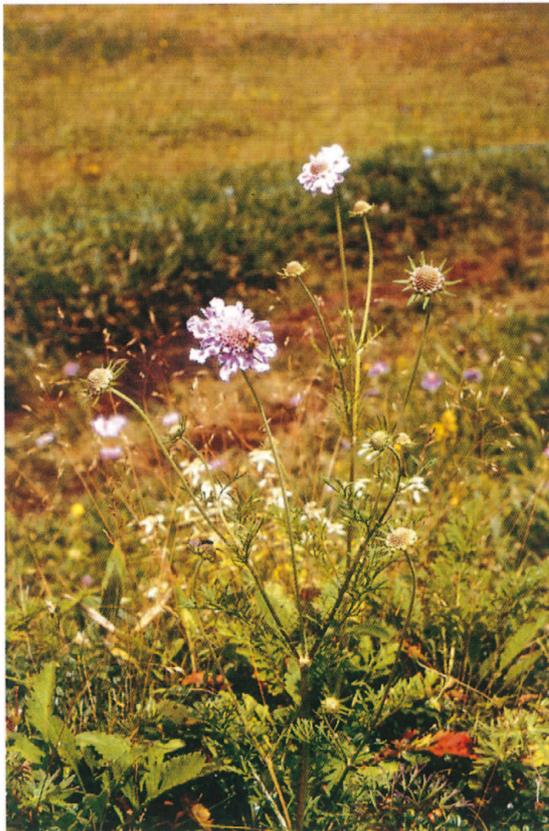
科名 オミナエシ科  
標本番号 3  
植物名 コキンレイカ  
採集年月 昭和52年7月



花期 7～8月  
生育地 山の岩場  
備考 高山の岩場などに生える。  
ハクサンオミナエシと呼ばれ、  
花はオミナエシによく似てい  
てうすい黄色である。  
丈は20～60cmである。



科名 マツムシソウ科  
標本番号 1  
植物名 マツムシソウ  
採集年月 昭和52年8月



花期 8～9月  
生育地 山の草原  
備考 秋の高原の象徴としてあげられる花である。丈が30～100cm。茎がいくつにも枝分かれし、葉は羽の形に細く切れ込んでいる。花は直径5cm内外で淡い紫色をしている。秋の高原で風にゆれる様子は高原のいちばん美しい季節である。



科名 キキョウ科  
標本番号 1  
植物名 キキョウ  
採集年月 昭和52年10月



花期 8～10月  
生育地 草原  
備考 秋の七草のひとつであるが、草原が少なくなって野生のキキョウを見ることが少なくなってきた。  
茎の高さは50～100cmで葉は狭卵形で先は尖り、無柄かまたはごく短い柄がある。花は茎頂近くに数個つき、青紫色であるが淡紫色のものもある。



科名 キキョウ科  
標本番号 2  
植物名 タニギキョウ  
採集年月 昭和53年6月



花期 5～7月  
生育地 木陰や湿地  
備考 山の木陰や湿地に生える多年草。  
葉はまばらにつき互生。花茎は  
10cmくらいで花の大きさは1cmに  
も満たない白い花をつける。



科名 キキョウ科  
標本番号 3  
植物名 ヤマホタルブクロ  
採集年月 昭和52年7月



花期 7～8月  
生育地 草地  
備考 この花は人里にも多く、子供の遊びなどにもとても縁のある花である。別名「とっかんばな」などと呼ぶ人もいる。茎の長さは30～80cm。花は長さ4cm内外で、色は白いものから濃い赤紫までいろいろ変化がある。がくの部分の違いにより、ホタルブクロと分かれる。



科名 キク科  
標本番号 1  
植物名 アキノキリンソウ  
採集年月 昭和52年9月



花期 8～10月  
生育地 野や山  
備考 秋を代表する植物のひとつで、  
高さ20～80cmで黄色い花を  
穂のようにつける。  
この高山型はコガネギクという。



科名 キク科  
標本番号 2  
植物名 アズマギク  
採集年月 昭和53年6月



花期 5～6月  
生育地 草地  
備考 乾いた草原に生える。  
草丈は20cm内外で花の大きさは3cmぐらいで紅紫色。全体に軟毛が生える。



科名 キク科  
標本番号 3  
植物名 ウスユキソウ  
採集年月 昭和52年9月



花期 7～9月  
生育地 山の草地  
備考 高さ25～40cm。  
上部の葉が白く綿毛におおわれ、  
薄い雪のように見えるので、この  
名がついた。  
有名なエーデルワイスもこの仲間  
である。



科名 キク科  
標本番号 4  
植物名 オケラ  
採集年月 昭和52年7月



花期 7～9月  
生育地 草原・林間  
備考 丈は40～100cm。  
茎は細くて堅く、葉も堅くて縁には小さな鋸歯がある。  
白い花のまわりを魚の骨のような包葉が囲んでいて特徴的。  
山菜として人気がある。正月のおとそにも入れられる。



科名 キク科  
標本番号 5  
植物名 オトコヨモギ  
採集年月 昭和52年9月



花期 8～11月  
生育地 陽あたりのよい山地・丘陵地  
備考 茎はそう生し、高さ40～140cm。  
根出葉は開花時に枯れ、中部  
の葉は多くはへら状くさび形。  
花は円錐花序に多数の頭花を  
つける。



科名 キク科  
標本番号 6  
植物名 カセンソウ  
採集年月



花期 7～9月  
生育地 陽あたりのよい湿地  
備考 茎はやや多くの毛があり、高さ60～80cm。硬くて細い。葉は無柄で基部は茎を抱き、互生し、ふちにわずかに牙齒があり乾いたばさばさした感触がある。花は黄色の数個の頭花を上向きに開く。頭花は径3.5cm～4cm基部に苞葉がある。



科名 キク科  
標本番号 7  
植物名 コウリンカ  
採集年月



花期 7～9月  
生育地 日当たりのよい適湿の草原  
備考 夏の盛りに草原に入ると、わりあい目につく花である。丈は50cm前後で枝は出さず、直立する。花は頭花が6～13個、やや散状につき径3～4cm。長い舌状花があり、反り返って咲く。和名は「紅輪花」で花の色から来ている。



科名 キク科  
標本番号 8  
植物名 セイヨウノコギリソウ  
採集年月



花期 6～9月  
生育地  
備考 ヨーロッパ原産の園芸植物。しばしば逸出して広く帰化している。茎は高さ30～100cm。全体に縮れた軟毛がある。頭花はかさ形に集まり、それぞれ5個内外の舌状花と多数の筒状花よりなり色は白色または淡紅色。

(左の写真は人家の庭で栽培されていたもの。)



科名	キク科
標本番号	9
植物名	センボンヤリ
採集年月	昭和53年5月



花期 4～5月  
 生育地 山や丘陵地  
 備考 山や丘の陽当たりのよい草原に生える多年草。葉は根生してロゼット状となる。春には丈が10cmくらいのかわいらしい花をつける。秋になると、30～50cmほどの細い茎が伸び、その先に閉鎖花をつける。名はこの秋花が槍に似ているところからでたものである。



科名 キク科  
 標本番号 10  
 植物名 ノブキ  
 採集年月 昭和52年8月



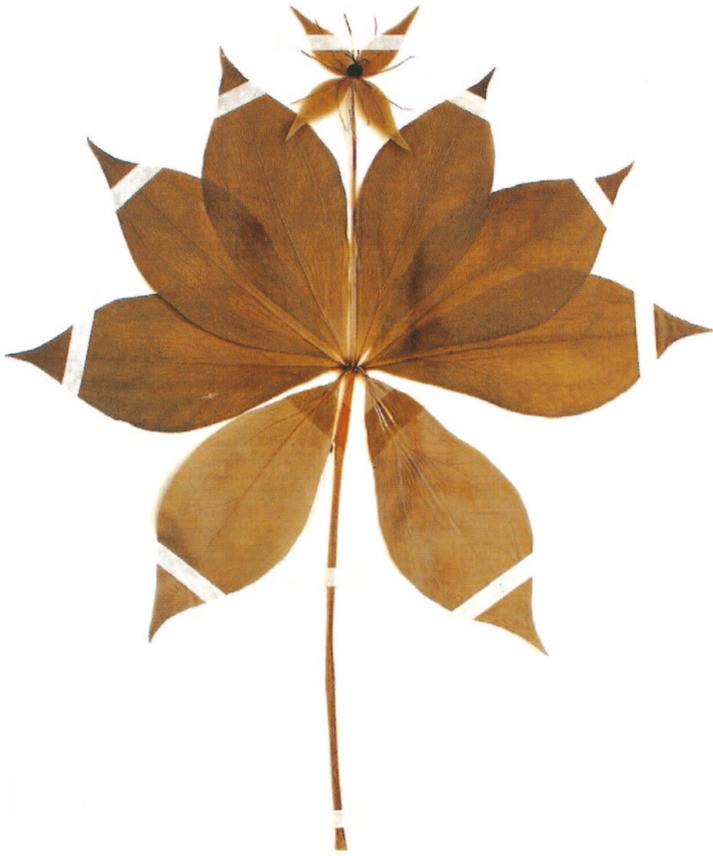
花期 8～10月  
 生育地 山地の木陰  
 備考 山地の木陰や谷間のやや湿気の多い所に生える多年草。茎は60～100cmにもなり、葉はややフキに似るが小形で長い葉柄には狭い翼があり、葉身は三角状(腎臓形)で裏面は綿毛があって白色となる。花は茎上部で分枝し、白色の小頭花を多数つける。そう果が人について散布するので山道に沿って多い。



科名 ユリ科  
標本番号 1  
植物名 アマドコロ  
採集年月



花期 4～6月  
生育地 草原・原野  
備考 よく似たナルコユリは林下に多いが  
この花は山の日当たりのよい草原  
などに生える。丈は、30～80cmほど  
になる。茎の中ほどから上は稜があ  
って角ばっているのが特徴で、ナル  
コユリの茎は上まで丸い。  
若芽は天ぷらやおひたしに出来る。



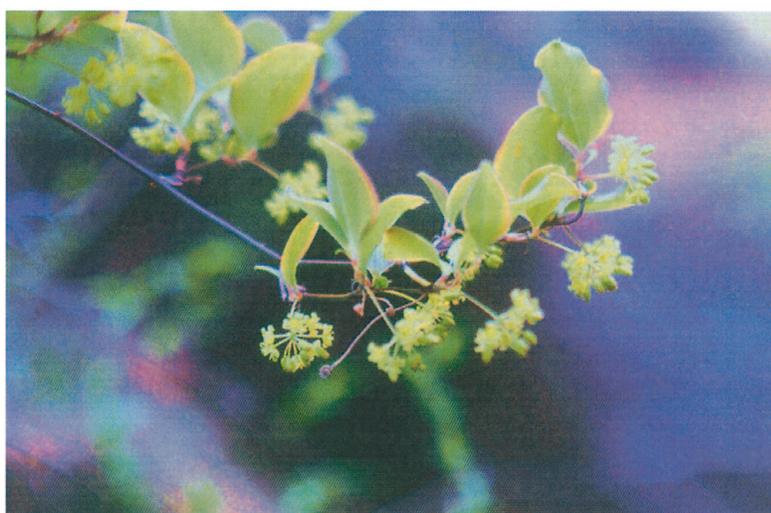
科名 ユリ科  
標本番号 2  
植物名 クルマバツクバネソウ  
採集年月 昭和53年6月



花期 6～7月  
生育地 山地林内  
備考 ツクバネ草に似るが、葉の数が6～8枚と多く、車の車輪のように見えることから、こう呼ばれている。ツクバネ草より大型で花期もやや遅い。果実は球形で紫黒色に熟す。



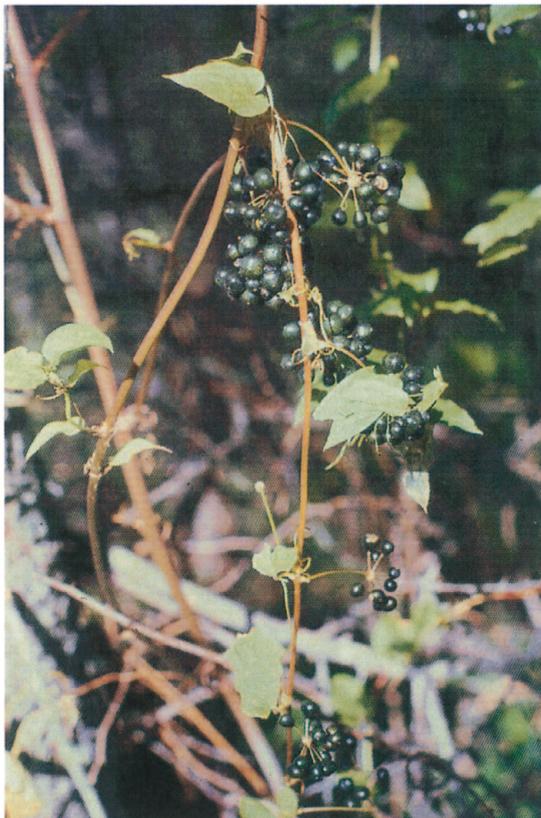
科名 ユリ科  
標本番号 3  
植物名 サルトリイバラ  
採集年月 昭和52年9月



花期 4～5月  
生育地 山野  
備考 つる性の落葉低木で巻きひげととげで他の木などにかたむ。茎は緑色で硬く強い。葉は楕円形で厚く光沢があり3～5脈が目立つ。雌雄異株で春、葉が伸びると同時に葉の付け根からでた柄の先に黄緑色の花がかたまって咲く。果実は7～9mmの赤色でかたまってつき美しい。和名は茎に刺があるので「猿捕茨」。



科名 ユリ科  
 標本番号 4  
 植物名 シオデ  
 採集年月 昭和52年9月



花期 7～8月  
 生育地 山野  
 備考 山野に生える多年草。雌雄異株。茎は2～3mに伸び、他のものによりかかり長い巻きひげがからみつく。葉は互生し、葉柄の基部に巻きひげがあり、これで他のものにかからむ。夏に葉腋に散形花序が出て、多数の花をつける。黒色の実をつける。若い芽は山菜として食用になる。



科名 ユリ科  
標本番号 5  
植物名 スズラン  
採集年月 昭和52年6月



花期 5～6月  
生育地 草原・疎林内  
備考 ユリ科の多年草。葉は2枚、根元より出る。花茎は葉よりも低く、10個くらいの白色の花が葉の陰にかくれて咲く。全草が猛毒である。



科名 ユリ科  
標本番号 6  
植物名 タケシマラン  
採集年月 昭和52年5月



花期 5～7月  
生育地 林内  
備考 高山に見られる多年草。茎は高さ15～50cm。途中で2つに枝分かれすることが多い。花は淡い緑色。果実は赤い。



科名 ユリ科  
標本番号 7  
植物名 チゴユリ  
採集年月 昭和52年5月



花期 5～6月  
生育地 林内・山の木陰  
備考 高さ15～30cmの小さなユリで、花の大きさも2cm足らずである。茎の先端に白い花を1個、まれに2個つけ下を向いて咲く。



科名 ユリ科  
標本番号 8  
植物名 ツクバネソウ  
採集年月 昭和52年6月



花期 5～7月  
生育地 山地林内  
備考 林の中に生える多年草。茎は直立し、高さ15～40cm。葉は茎の途中に4枚が輪生している。茎の先に花柄を伸ばし、花は上向きに1個つき、色は緑色で花びらはなく目立たない。花の形が羽根つきの羽根に似ることにより命名された。



科名 ユリ科  
標本番号 9  
植物名 ナルコユリ  
採集年月 昭和52年6月



花期 5～6月  
生育地 山地の林下  
備考 山地の林下に生える多年草。高さ50～100cm。上部は弓状に曲がる。花は5～6月。葉腋に3～5個つき垂れ下がる。似た花の咲くアマドコロとの見分け方は茎の中ほどから上が同じように丸ければナルコユリ、角ばっていればアマドコロである。



科名 ユリ科  
標本番号 10  
植物名 ホソバナアマナ  
採集年月 昭和53年5月



花期 5～6月  
生育地 山の草原  
備考 草原や山の沿道でときどき見かける多年草。細い茎の先に1～5個の花をつける。高さは20cmぐらいで花の大きさは2cmほどである。



科名 ユリ科  
標本番号 11  
植物名 マイヅルソウ  
採集年月 昭和52年6月



花期 5～7月  
生育地 山地林下  
備考 主に針葉樹林の下に生え、丈は8～20cm。葉はハート型をしている。茎の先に可愛い白い花をつけ、実は小鳥が好んで食べる。和名は、「舞鶴」で全体の形から命名された。



科名 ユリ科  
標本番号 12  
植物名 ユキザサ  
採集年月 昭和52年7月



花期 5～7月  
生育地 山地の林内  
備考 薄暗い林内に見られ、丈は15～60cm。茎先に多数の白花をつけ秋に果実は赤く熟す。和名は花が雪のように白く、葉がササの葉に似ているため。



科名 ユリ科  
 標本番号 13  
 植物名 ワニグチソウ  
 採集年月 昭和52年5月



花期 5～6月  
 生育地 山地  
 備考 山地の林下に生える多年草。高さ20～40cmになる。葉は卵状楕円形で多少灰色を帯びた暗緑色をしている。葉のわきから長さ1cmほどの柄を垂らし、2個の苞葉の内側に白緑色で長さ2～2.5cmの花をつける。和名は花をはさんだ2苞葉の形を神社の拝殿に下がっている鰐口にたとえたものであろう。



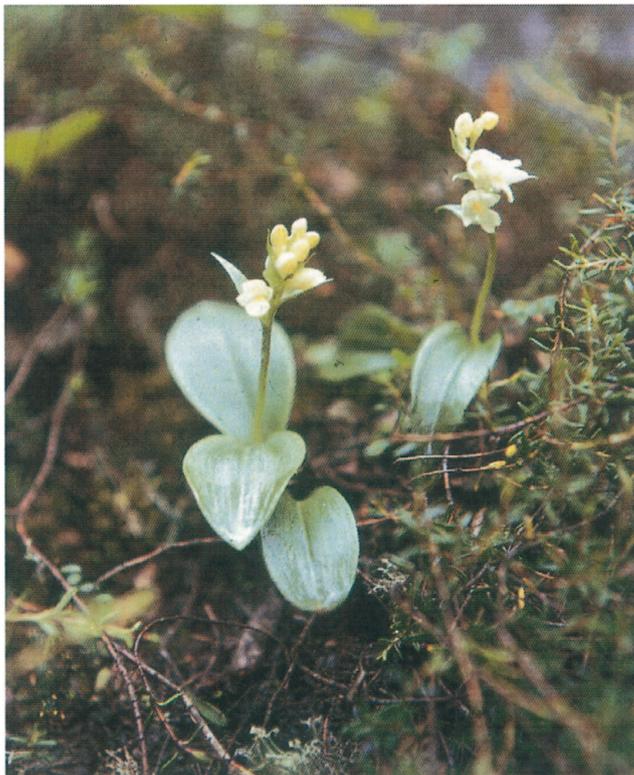
科名 ヤマノイモ科  
標本番号 1  
植物名 ウチワドコロ  
採集年月



花期 7～8月  
生育地 山地  
備考 山野に生えるつる性の多年生草木  
でつる茎は冬は枯れる。葉は長柄  
で互生し、質はうすく草質。雌雄異  
株で夏に緑黄色の小花を開くが、  
鐘形で完全には開かない。さく果  
は倒卵状楕円形で上を向き3枚の  
羽根状になる。  
この仲間の分類は、葉だけでは難  
しい。



科名           ラン科  
標本番号       1  
植物名         オノエラン  
採集年月



花期           7～8月  
生育地        高山の草地  
備考           高山の草地に生える日本特産  
                の多年草である。  
                茎は高さ10～15cm。ひも状の  
                根を持ち、根もとに広楕円形で  
                長さ4～6cmの葉が2枚つく。  
                2枚の葉の間から花茎を出し、  
                頂に純白で唇弁に黄色い模様  
                のある花を5～10個つける。  
                和名は尾上蘭(オノエラン)で  
                山に生えるランの意味を持つ。



科名           ラン科  
標本番号       2  
植物名         ササバギンラン  
採集年月       昭和52年6月



花期           5～6月  
生育地         山地・丘陵  
備考           山地や丘陵の林の中に生える多年草。  
高さ30～50cmになり、ギンランよりも大  
きい。葉は卵状披針形で6～8枚が互  
生する。ササバという名前のおり、葉  
がギンランより細長く、花茎と同じくらい  
まで伸びる。花もギンランよりやや大き  
くて、長さ1.3cmほどある白色である。



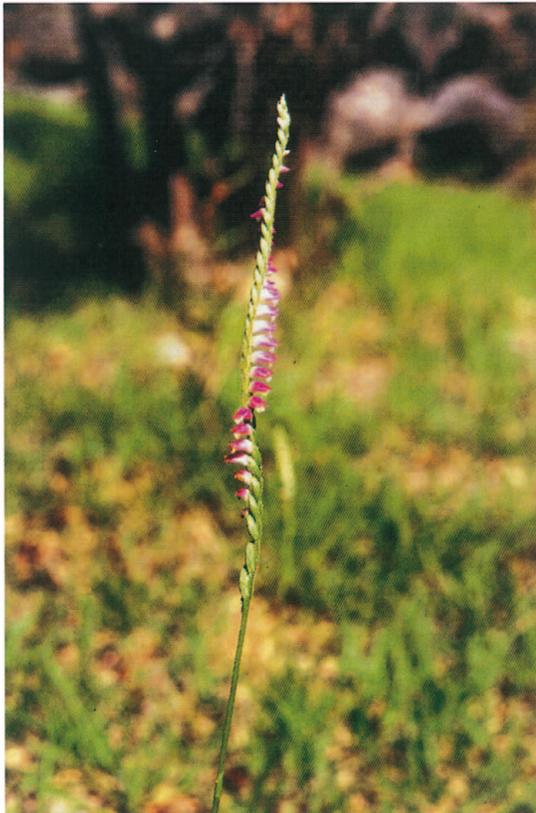
科名           ラン科  
標本番号       3  
植物名         ジガバチソウ  
採集年月       昭和52年7月



花期           5～7月  
生育地        林縁  
備考           高さ8～20cmのランの仲間。葉は  
                2枚、相対してつき縁が波うつ。  
                花茎は直立し10～20cmの紫褐色  
                で形がジガバチに似ている。



科名 ラン科  
 標本番号 4  
 植物名 ネジバナ  
 採集年月 昭和52年8月



花期 5～8月  
 生育地 野原・陽あたりのよい芝地  
 備考 陽あたりのよい野原の芝地、田のあぜ、堤、芝生内などに生える多年草。高さは15～40cm。地中には白色で多肉の紡錘根がある。根生葉は長さ5～20cmで幅3～10cmの広線形で数枚つく。葉の間から、10～30cmの花茎を出し、桃紅色で可憐な小花が多数咲く。花茎は淡緑色で上部がねじれ毛がある。和名は振花(ねじバナ)でねじれた花序からつけられた。



科名           ラン科  
標本番号       5  
植物名         ハクサンチドリ  
採集年月       昭和52年7月



花期           6～7月  
生育地         高山の草地  
備考           高山の草地に生える多年草。茎は高さ  
10～40cm、葉は3～6枚つき、長さ5～  
15cmの倒披針形で、基は鞘となって茎  
を抱く。花は紫色で茎先端に多数総状  
につく。和名は石川県の白山に多く生え  
千鳥の飛び姿に似た草の意味である。  
似たものに、テガタチドリがあるが、ハク  
サンチドリよりも花期が少し遅い。



科名           ラン科  
標本番号       6  
植物名         ホソバノキノチドリ  
採集年月       昭和52年7月



花期           7～8月  
生育地         深山  
備考           深山の草地に生える多年草である。  
                  茎は高さ20～40cmで葉は下部の1枚  
                  が大きく、狭い長楕円形で長さ3～7cm。  
                  茎の先に黄緑色の小さな花が多数つく。



科名           ラン科  
 標本番号       7  
 植物名         ミズチドリ  
 採集年月       昭和52年7月



花期           6～7月  
 生育地        山野の湿地  
 備考           山地や低地の湿地に生える高さ50～90cmの多年草。根は太いひも状、葉は下部の数枚が大きく、長さ10～20cmの線状披針形で、基部は鞘となって茎を抱く。茎の先に多数の白花を穂状につけ、よい香りがあるのでジャコウチドリの別名がある。



科名           ラン科  
標本番号       8  
植物名         ミヤマモジズリ  
採集年月       昭和52年8月



花期           8～9月  
生育地        深山  
備考           深山の針葉樹林下や岩上に生える多年  
草。高さは10～20cm。根生葉は2枚が対  
生し、茎葉は互生する。茎の先に一方に  
向く穂状花序を出し、淡紅色の花が多数  
咲く。苞葉は小形でがく片と側花弁が軽く  
くっついてかぶと形となる。

参 考 文 献

- |             |       |
|-------------|-------|
| 『牧野新日本植物図鑑』 | 昭和40年 |
| 『原色日本植物図鑑』  | 昭和54年 |
| 『日本の野生植物』   | 1984年 |
| 『浅間高原の植物』   | 1993年 |
| 『群馬の植物散歩』   | 1982年 |
| 『日本の植物区系』   | 1979年 |

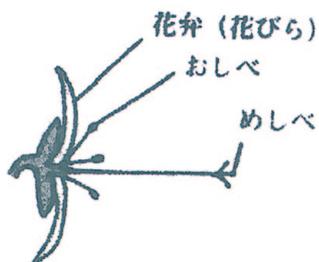
## 植物の用語

各ページの備考欄には、ところどころ植物の形を表すために理解しにくい用語があらわれます。そこで、ここでは基本的な用語を選び図で説明してみました。

## 花の構造

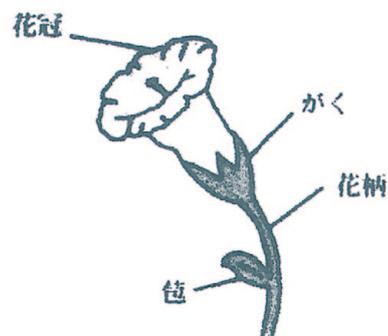
### 離弁花類

一般に分離した花弁を持つ



### 合弁花類

花弁は合弁花冠となる



## 花のつき方 (花序)

枝上における花の配列状態により分ける。

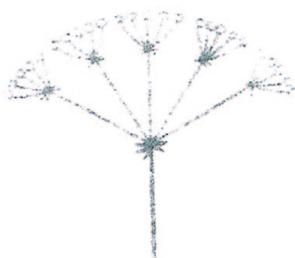
### 総状花序



散形花序



複合散形花序



### 穂状花序



円錐花序



尾状花序



### 散房花序



頭状花序



集散花序



## 葉のつきかた

### 互生

葉が茎の各節から一枚ずつ出ていること



### 束生

枝の先端に束になって付いていること



### 輪生

葉が茎の各部から三枚以上出ていること



### 対生

二枚ずつ互いに向き合っていて出ていること



### 根生

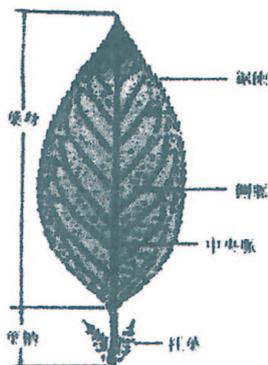
根元から葉が生えること



## 葉の各部の名称

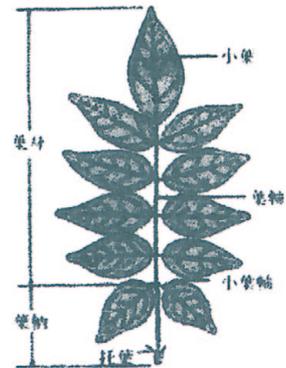
### 単葉

葉身が一枚の葉を言う



### 複葉

葉身が二枚以上の小葉からなる葉



## 植物名索引(50音順)

	頁		頁
〈アーオ〉		ガンコウラン	99
アオイスミレ	120	カンボク	192
アオダモ(コハトネリコ)	157	キキョウ	199
アカネ	167	キジムシロ	74
アカネスミレ	121	キツリフネ	109
アカバナ	128	キハダ	98
アキノキリンソウ	202	キバナノヤマオダマキ	42
アケビ	52	キブシ	126
アケボノソウ	163	クサフジ	88
アズキナシ	71	クマイチゴ	75
アズマギク	203	クマヤナギ	117
アブラチャン	39	クララ	89
アマドコロ	212	クリ	21
イケマ	166	クリンユキフデ	31
イタドリ	30	クルマバソウ	169
イタヤカエデ	101	クルマバツクバネソウ	213
イヌエンジュ	87	クルマバナ	179
イヌコリヤナギ	15	クワ	27
イヌザクラ	72	クワガタソウ	182
イブキジャコウソウ	175	ゲンバイヅル	183
イブキボウフウ	135	ケヤキ	23
イボタノキ	158	ゲンノショウコ	95
イワカガミ	143	コアジサイ	65
イワネコノメソウ	63	コウリンカ	208
ウスノキ	147	コキンレイカ	197
ウスユキソウ	204	コゴメウツギ	76
ウチワドコロ	225	コシアブラ	133
ウツボグサ	176	ゴゼンタチバナ	130
ウマノミツバ	136	コバノイチヤクソウ	144
ウメバチソウ	64	コブシ	38
ウリカエデ	102	コマツナギ	90
ウリハダカエデ	103	コマユミ	111
ウワバミソウ	29	コンロンソウ	59
エビヅル	118		
オオツリバナ	110	〈サーソ〉	
オオバコ	189	サクラスミレ	122
オオバタネツケバナ	58	ササバギンラン	227
オカトラノオ	153	サビバナナカマド	77
オガラバナ	104	サラサドウダン	148
オケラ	205	サラシナショウマ	43
オトコエシ	195	サルトリイバラ	214
オトコヨモギ	206	サワシバ	17
オニヒョウタンボク	190	サワフタギ	156
オノエラン	226	シオデ	215
オミナエシ	196	ジガバチソウ	228
		シナノキ	119
〈カーコ〉		シモツケ	78
カキドオシ	177	シモツケソウ	79
カシワ	20	シャジクソウ	91
カセンソウ	207	シラネセンキュウ	137
カツラ	41	シロスミレ	123
カナムグラ	25	ジンヨウイチヤクソウ	145
ガマズミ	191	スイカズラ	193
カラハナソウ	26	スイバ	32
カラフトイバラ	73	スズラン	216
カワミドリ	178	ズミ	80
カワラナデシコ	36	セイヨウノコギリソウ	209
カワラマツバ	168	セキヤノアキチヨウジ	180

セントウソウ	138	ヒロハツリバナ	114
センボンヤリ	210	フジウツギ	181
<タート>		フタバハギ	92
ダイコンソウ	81	フタリシズカ	54
タケシマラン	217	ブナ	22
タチカメバソウ	173	ヘクソカズラ	170
タチゴメグサ	184	ベニバナイチヤクソウ	146
タチツボスミレ	124	ベンケイソウ	62
タチフロウ	96	ホソバナアマナ	221
タニギキョウ	200	ホソバナキソチドリ	231
タニソバ	33	ボタンヅル	47
タニタデ	129	<マーモ>	
タニミツバ	139	マイヅルソウ	222
ダンコウバイ	40	マタタビ	55
チゴユリ	218	マツムシソウ	198
チドリノキ	105	ママコナ	187
ツガザクラ	149	マユミ	115
ツクバネソウ	219	ミズキ	131
ツマトリソウ	154	ミズチドリ	232
ツルデマリ	66	ミズヒキ	34
ツルマサキ	112	ミツデカエデ	107
ツルリンドウ	164	ミツバアケビ	53
トウゴクサバナオ	44	ミツバウツギ	116
ドクウツギ	100	ミツモトソウ	83
トネリコ	159	ミネカエデ	108
トモエシオガマ	185	ミヤコグサ	93
トモエソウ	56	ミヤマイボタ	162
<ナーノ>		ミヤマザクラ	84
ナルコユリ	220	ミヤマニガウリ	127
ナンバンハコベ	37	ミヤマニンジン	141
ニガイチゴ	82	ミヤマハンショウヅル	48
ニシキウツギ	194	ミヤマモジズリ	233
ニシキギ	113	ムラサキシキブ	174
ニッコウネコノメ	67	ムラサキヤシオツツジ	152
ネコノメソウ	68	モミジイチゴ	85
ネジバナ	229	<ヤーヨ>	
ノダケ	140	ヤシャブシ	18
ノブキ	211	ヤナギタデ	35
<ハーホ>		ヤブマメ	94
バйкаウツギ	69	ヤマウコギ	134
ハウチワカエデ	106	ヤマエンゴサク	57
ハエドクソウ	188	ヤマグワ	28
ハクウンボク	155	ヤマトリカブト	49
ハクサンイチゲ	45	ヤマハタザオ	60
ハクサンチドリ	230	ヤマハンノキ	19
ハクサンフウロ	97	ヤマブキショウマ	86
ハシドイ	160	ヤマボウシ	132
バッコヤナギ	16	ヤマホタルブクロ	201
ハナヒリノキ	150	ユキザサ	223
ハルニレ	24	ヨツバムグラ	171
ハンショウヅル	46	<ラーワ>	
ヒイラギ	161	リョウブ	142
ヒカゲツツジ	151	リンドウ	165
ヒナスミレ	125	ルイヨウショウマ	50
ヒメウツギ	70	ルイヨウボタン	51
ヒメトラノオ	186	ワダソウ	61
ヒルガオ	172	ワニグチソウ	224

## あ と が き

まず、この写真目録をまとめるにあたり、多くの方々のご指導、ご協力に感謝申し上げます。

さて、この植物標本は浅間山周辺の植物を後世に残すために作成されたものです。

標本作成後、湿気を防ぐため茶箱に入れられており、良好な状態で保存されておりました。

写真を撮っても植物の状態がよくわかり良かったと思います。また標本だけでなく、花木の写真を載せたことで、よりいっそう標本が身近に感じられたように思います。

標本は科名・植物名等を表記し、花木写真にはちょっとした解説を掲載しました。また巻末に「植物の用語」・「葉のつきかた」をのせることで意味がわかるよう配慮しました。

資料は全部で219点を掲載しました。これで浅間山周辺の植物すべてではありませんが今では貴重な植物標本もあり、写真目録としてまとめた意義はたいへん重要なことと思います。

この標本及び写真目録が活用されることを願って「あとがき」といたします。

長野原町文化財調査委員

副委員長 小林 清

浅間周辺の植物標本写真目録（非売品）

---

平成27年 3月 吉日 発行

編集 文化財調査委員会  
発行 長野原町

群馬県吾妻郡長野原町大字長野原66-3

電話 0279(82)2244